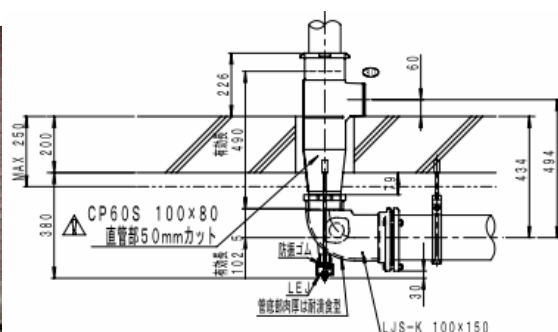
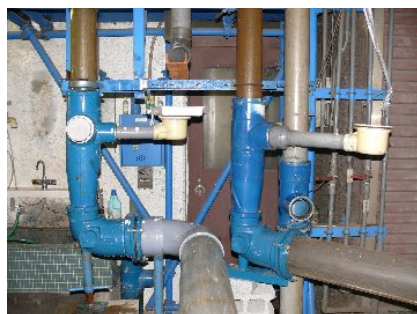


LJS-K 100x150を使用した最下階合流システムの採用条件

LJS-K 100x150（最下階合流用脚部継手）を使用して最下階合流システムとする場合は、以下の**3**つの条件を満足すること。

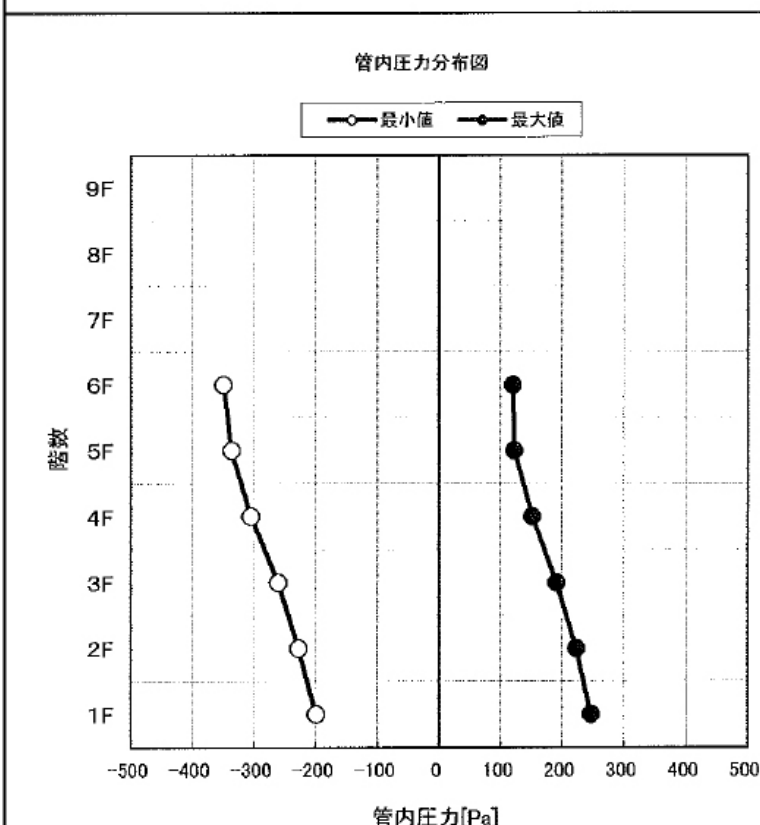
- ① 最下階排水横枝管芯と一次排水横主管芯の垂直距離は、最小**494mm**以上確保する。
- ② 排水立て管底部から一次排水横主管の第一水平曲がり、もしくは第一合流部までの距離は、最小**1,000mm**以上確保する。
- ③ 一次排水横主管150Aの許容流量値を**6.5 [l/s]** として、管径を算定する。なお、二次排水横主管150Aについては、SHASE-S 206 に示されている通り**8.3 [l/s]**としてよい。



●LJS-K 100x150 最下階合流 横主管150A 1000x1700x2000

実験No:1-65

排水負荷 9F:2.5[l/s]+8F:2.5[l/s]+7F:1.5[l/s]……合計:6.5[l/s]



管内圧力 [Pa]		負荷階
最小値	最大値	
9F		負荷階
8F		負荷階
7F		負荷階
6F	-349.5 120.2	
5F	-336.7 122.3	
4F	-305.2 151.9	
3F	-261.3 190.7	
2F	-228.3 222.8	
1F	-199.9 246.4	

